

netkeiba.com

競馬の全てがここに集結！

超レアなプレゼントに無料で応募しよう！
レースゼッケン・人気ジョッキーサイン等



曜日の特集



現在20歳のベッキーの「人生の先生」となる素敵な女性が毎回生出演。自らの波乱万丈の人生を語るとともに、成功の秘訣を教授します。

ベッキーへ...
未来からの手紙

8/9

今週の人生の先生

後藤 昌代さん

このコーナーは、ベッキーが素敵になるために色々なジャンルで活躍されている女性から、お話しを伺うものです。

国際政治アナリスト 後藤昌代さん

世界中どこへでも行ける時代。でも、この女性以上に出かけている人ってそうはいないでしょう！今日のゲストは、国際政治アナリスト・後藤昌代さん。海外を股にかけるスーパーウーマンです。



日本のある国の大使館で働き、その一方、アナリストとして世界各国を1人で取材して回っているのです。そんな彼女がこれまで行った国や地域は？

「100近くです。その経験は私にとってかけがえのない財産です！」



まさに国際人の彼女。18歳の時のアメリカ留学を皮切りに、各国を巡り始めました。



そして30歳の頃、南極で転機となる出来事が起きたのです。

「ロシアの船の船員さんが、“昔日本人に命を助けられたから同じ日本人である私にお礼をしたい”と言ってプレゼントをくれたんです。」



それに対して勿論・・・

「私が助けたわけではないと言ったけど、“同じ日本人だからとにかくお礼させてくれ”と」

戸惑いながらも、彼女はあることに気が付きました。

「海外では私が日本人の代表なんだと。日本人として恥ずかしくないようにしなければいけないと思い知りました。」

そんな彼女が、日本生まれの国際人として、まず心がけていることそれは、様々な国の人たちと話をして自分に吸収すること。

国際人になるには・・・「色々な人と話をする」

国際政治アナリストってどんなお仕事？

「国際政治に関する研究・調査です。本業は、ある大使館で日本の政治や外交の研究調査の仕事をしていますが、その傍ら、1人で世界各国を回りながら、取材や冒険をしています。」



こちらに世界地図と写真があります。赤いところが行った所ですね。真っ赤ですが、いつ頃から世界中を回りたいと思ったんですか？

「小学生の頃から海外に憧れて、アメリカ留学した後オーストラリアにも留学し、博士課程まで国際政治学を勉強しました。その傍ら世界各国を取材して見て歩き、現在に至ります。」



なぜ、人と会って色々な話をするのが国際人に必要なんですか？

「いろいろな人と会って話をして、異なる考えや文化を吸収していくことができるんです。だからこそ、国際人になるための第一歩だと思います。」

今まで、印象に残った人っていますか？

「93年にインドに行った時、マザー・テレサにお会いしたんですが、とても人に安らぎを与える人で、一言一言がとてもやさしいんです。平和というのは観念の言葉ですが、マザー・テレサはまさに平和そのもの。平和が物資になるとしたらマザー・テレサになるだろうと思いました。」



どうやって会えたんですか？

「実はシドニーのUFO国際会議に参加したことがあって、そのメンバーに宇宙飛行士がいたんですが、その人が聖人たちに会いに行くというツアーを企画してたんです。それでめったにできる体験ではないと思い参加したんです。」

他にも印象に残った人はいますか？

「実はそのツアーでサイババにも会いました。」

どんな話をしたんですか？

「人に対する感謝を忘れないようにだとか、お話していただいたんですが、後はサイババ宮殿に招待してもらい、物質化とって手のひらに腕時計が浮かび上がる現象を見せてもらいました。サイババが念じ始めたら、何処からとも無く時計が現れてきました。実際に手にしてみると確かに存在していて、よく見ると“seiko”と書いてありました。これはトリックではない！みんなで信じようということにしました。」



国際人になるには・・・「日本を知る」

24歳の頃の彼女の悩みは、逆カルチャーショックを受けてしまったこと。日本の文化や習慣に適應できない自分がいたんです。



簡単にアメリカンナイズされた自分に悩み、このままでは本当の国際人にはなれないと、日本の文化をもう一度勉強し直す決意をしました。そこで茶道や華道を始めます。自分の国のことを知ってこそ、初めて真の国際人になれることに気付いたので



逆カルチャーショックを受けて大変だったことは？

「アメリカではいい意味でも悪い意味でもフレンドリーで平等という精神があるんですが、日本に帰ってきて、年上の人にもフレンドリーに接するようになってしまったんです。人がいる前でも、机の上に座って話をしたり、英語交じりの日本語を使ったり、尊敬語が出てこなかったりと、日本では失礼にあたる行為が平気になっちゃって。」

それで、日本文化を学び直そうと思ったんですね？

「はい。国際人になるためには日本人のベースをしっかりと持たないといけないんだと思いました。」

でも、何で華道や茶道を始めたんですか？

「アメリカにいる時に、日本女性では当たり前と思われている華道や茶道のことをよく聞かれました。でも何も知らなかったんです。この事が印象に残っていたからです。」

華道や茶道で得たものは？

「恩師・先生を敬うこと、相手を思いやる心、日本の文化の伝統やしきたりや振る舞いなど、日本人として大切なことを得ました。またそれが、国際人になるためには大切なものだ気付きました。」

今後、行ってみたい国はありますか？

「行ってない国に行きたい。また、潜水艦に乗って深海のタイタニックを見たい。地球を眺めるツアーに参加したい。」

どのくらいの割合で外国に行かれてますか？

「18歳からだいたい8割くらいは外国で生活しています。」

何ヶ国語はなせるのですか？

「英語、フランス語、スペイン語を勉強しています。」

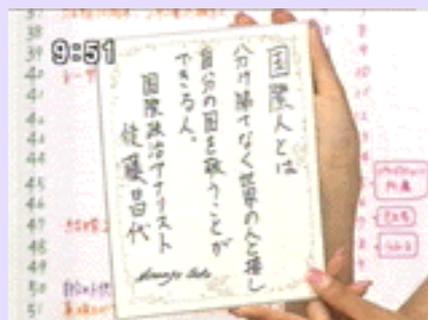
日本人ってどう思われていますか？

「知的でとても頭のいい人たちと思われています。特に科学技術がすばらしく、その技術で私たちが幸せにしてもらいたいと思っているほど。」

後藤昌代さんからのお手紙

「国際人とは
分け隔てなく世界の人と接し、
自分の国を敬うことができる人。」

国際政治アナリスト
後藤昌代



問い合わせ

【後藤さんのHPアドレス】

<http://www.masayogoto.com>

【メールアドレス】

masayo510@aol.com

前回の記事